

新駒場図書館増築の検討に向けた意見募集

駒場 I キャンパスの学生の皆さんへ

総合文化研究科長・教養学部長

森山 工

数理科学研究科長

斎藤 毅

東京大学は、PFI 手法※により駒場図書館増築（Ⅱ期棟計画）に向けた基本設計を進める方針です。

駒場図書館は、配架スペースの不足、全学的な総合的教育改革への対応、アクチュアルな学知の社会への還元等を背景とし、東京大学附属図書館の拠点図書館の一つとして、東京大学が目指す理念と基本方針となる「UTokyo Compass」に沿った機能強化のため、増築に向けた検討を開始しています。そこにおいては、図書館の情報提供体制や学術資産のアーカイブ機能を強化し学術資産の利活用を促進する【学術情報基盤の学際統合】、アクティブラーニングの刷新に対応しうるラーニングコモنزの新設を通じた【学知のハブの形成】を図るとともに、多目的スペースでは、図書館を通じて大学と社会との連携【持続可能な知の発展】を図ることをコンセプトとしています。

また、検討にあたり、これまで折に触れて寄せられてきた利用者からの要望（試験期間などに顕著になる閲覧席の不足、討論のできるグループ学習室の不足などの解消）も踏まえましました。

具体的には、図書館スペース（地上3階地下2階）、多目的スペース（民間付帯事業による福利厚生スペースを含む）を増築し、図書館スペースには、キャンパス内の蔵書の統合と将来の増加を見込んだ100万冊規模の書架、グループワークなどが可能なラーニングコモنزを含む1,000席規模の閲覧席の配置、増設を検討する予定です。

現時点の計画では利用開始は2027年度を想定していますが、特に、グループワークなどが可能なラーニングコモنزの利用などについて、実際に新棟を利用する将来の学生のためにも、現在の学生の皆さんのお考えをお聞かせください。

ご意見は、3月10日（金）までに「駒場 I キャンパスライフ改善サイト」にお寄せください。

いただいたご意見は、新駒場図書館計画の検討にあたっての参考にさせていただきます。

※ PFI（Private Finance Initiative：プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/procurement-contracts/b07_03.html

駒場 I キャンパスライフ改善サイト

URL : <https://www.c.u-tokyo.ac.jp/covid19/campus-dev/>

○本件お問い合わせ先

教養学部等図書課情報管理チーム

komasen@lib.c.u-tokyo.ac.jp